

補強コンクリートブロック造の建物の耐力度調査票

学校種別	整理番号
------	------

(表面)

調査学校	都道府県名	設置者名	学校名	学校調査番号	調査期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日	結果点数	耐力度
					調査者	職名	A 構造耐力	A × B × C
						建築士登録番号	点	
調査建物	建物区分	棟番号	階数	面積	建物の経過年数	被災歴	B 保存度	点
				一階面積 延べ面積	建築年 経過年数	状況	C 外力条件	点
				m ² m ²	昭和 年 年	被災年		点
					昭和 年 年	補修年		点

A	保	a	水平耐力	q	階	方向	垂直部材耐力 Q _o	建物重量 W	層せん断力分布係数 A _i	方向別水圧耐力 WA _i	q _x 又はq _y の最小値	判別式	評	点	評点合計
					けた行	けた行				q _x	q 0.75 1.0	ア	カ (カ×50)		
					張間	張間				q _y	0.75>q>0.3	直線補間			
					Y	Y					q 0.3 0.3				
有	b	コンクリートブロック強度	種別標準強度 f _N	圧縮強度 f _B	= f _B /f _N	判別式	評	点							
			旧A種 30kg/cm ²			1.0 1.0	イ	ハ (ハ×50)							
			A種 50kg/cm ²			1.0>>0.5	直線補間								
			B種 70kg/cm ²			0.5 0.5									
C種 90kg/cm ²															
造	c	偏心率	Re	偏心距離 e	弾力半径 r _e	Re=e/r _e	Reの最大値	判別式	評	点					
				けた行	けた行	けた行	けた行	Re 0.15 1.0	ニ (0.3以下×は0.3とする)						
				張り間	張り間	張り間	張り間	0.15<Re<0.3		直線補間					
				方向 X	方向 Y	方向 X	方向 Y	Re 0.3 0.7							
耐	d	臥梁スラブ構造 m	m	臥梁寸法 m ₁	スラブ(屋根) m ₂	m=m ₁ xm ₂	評価	評		点					
				基準値を満足	基準値を満足しない	鉄筋コンクリート	その他	1.0 m=1.0 1.0	イ						
				1.0	0.9	0.9 m=0.9 0.9									
				1.0	0.9	0.81 m=0.81 0.8									
力	コンクリート圧縮強度 k	設計基準強度	K=F c/150	判別式	評	点									
		設計図書有り	設計図書無し	K 1.0 1.0	キ	ク (キ×10)									
		Fc= kg/cm ²	kg/cm ²	1.0>K>0.5			直線補間								
				K 0.5 0.5											
基礎構造	木杭	RC杭・ベテスタル杭	独立基礎・その他杭・不明	評			価	評	点						
	0.8	0.9	1.0	ケ	コ (ケ×20)										
						該当値の最小値									
ブロック種別	旧A種	A種	B種	C種	評	価	評	点							
	0.8	0.9	1.0	1.0	サ	シ (サ×20)									
							該当値の最小値								

B	経過年数 (残存率 T)	経過年数 t	判別式	評	点	評点合計							
		年	$T = \frac{38-t}{38}$	ア	イ (ア×30)	ト=イ+I+カ+ク+コ+シ+セ+タ+ツ B=ト×テ 点							
	保	コンクリート中性化深さ及び鉄筋かぶり厚さ	a 鉄筋かぶり厚さ	部位	臥梁 1		臥梁 2	基礎梁 1	基礎梁 2	平均値 a	判別式	評	点
			状況								a 1.5cm 1.0	ウ	I (ウ×5)
	1.5cm < a < 3cm	直線補間											
	b 鉄筋かぶり厚さ	部位	臥梁 1	臥梁 2	基礎梁 1		基礎梁 2	平均値 b	判別式	評	点		
	状況									b 3cm 1.0	エ	カ (エ×10)	
	3cm > b > 1.5cm	直線補間											
	b 1.5cm	0.5											
	存	充てんコンクリート中性化深さ及び鉄筋かぶり厚さ	a 充てんコンクリート中性化深さ	部位	縦目地 1		縦目地 2	横目地 1	横目地 2	平均値 a'	評価	評	点
状況											1 2以下 3以下 4 5 5	キ	ク (キ×5)
1.0 0.9 0.8 0.7 0.5													
b 鉄筋かぶり厚さ	部位	縦筋 1	縦筋 2	横筋 1	横筋 2	平均値 b'	評価	評	点				
状況									1 2以下 3以下 4 5 5	ケ	コ (ケ×10)		
1.0 0.9 0.8 0.7 0.5													
度	鉄筋腐食度 F	部位	臥梁	基礎梁	縦筋	横筋	平均値 F	評価	評	点			
		状況								1 2以下 3以下 4 5 5	サ	シ (サ×10)	
1.0 0.9 0.8 0.7 0.5													
部位	臥梁・基礎梁	床	ブロック壁1	ブロック壁2	c又はc'の最大値	評価	評	点					
状況									以下 以下 以下 以下	ス	セ (ス×10)		
1 2 3 4 5													
平均値	c	c'							1.0 0.9 0.8 0.7 0.5				
不同沈下量	相対沈下量	スパン L	= / L の最大値	判定式	評	点							
	けた行	けた行	けた行	けた行	けた行	けた行	けた行		1 / 500 1.0	ツ	タ (ツ×10)		
1/500 < < 1/200	直線補間												
1 / 200	0.5												
たわみ量	たわみ量	スパン L	= / L の最大値	判別式	評	点							
	床	はり	床	はり	床	はり			1 / 300 1.0	チ	ツ (チ×10)		
1/300 < < 1/200	直線補間												
1 / 200	0.5												
火災による疲弊度 S	程度	構造体変質	非構造材全焼	非構造材半焼	煙害程度	当該階の床面積 S _o	被災率 S	判別式	評	点			
	被災床面積	S ₁	S ₂	S ₃	S ₄	S _o	S = S ₁ /S _o	S = 0 1.0	テ				
評価後被災面積	S ₁	S ₂	S ₃	S ₄	S _o	S = S ₁ /S _o	0 < S < 1 直線補間						
S = 1	0.5												

C	外力条件	地震地域係数	地盤種別	積雪寒冷地域	海岸からの距離	評	価	評	点
		四種地域 1.0	一種地盤	1.0	その他地域 1.0	海岸から8kmを超える	1.0	C = (1+2+3+4) / 4	C
		三種地域 0.9	二種地盤	0.9	二級積雪寒冷地域 0.9	海岸から8km以内	0.9		
		二種地域 0.85	三種地盤	0.8	一級積雪寒冷地域 0.8	海岸から5km以内	0.8		
一種地域 0.8									

(裏面)

学校名

調査者の意見

1. 調査建物の各階の平面図，断面図を単線で図示し，耐力壁は他と区別できるような太線とする。
2. 寸法線と寸法（単位メートル）を記入する。
3. 平面図に，ブロック強度，コンクリート圧縮強度，コンクリート及び充填コンクリートの中性化深さ，鉄筋かぶり厚さ，鉄筋腐食度の測定位置を記入する。
4. 余白に縮尺，建築年，延べ面積を記入する。



方位